

南るもい だより

発行所 南るもい農業協同組合 0164(代)42-1122
発行責任者 管理部
印刷 白鷗印刷株式会社

10月号 No.189



平成29年9月7日(木)～11日(月)の5日間にわたり宮城県仙台市にあります夢メッセみやぎを会場に、第11回全国和牛能力共進会が開催されました。今回の共進会は、5年に1回の開催となる和牛のオリンピックとも称される大きな共進会であり、肥育部門に小平町住吉地区の前崎正弘さん所有の「北百合安」号が北海道代表として選ばれ、小平町としては10年ぶり3回目の出品となりました。

北海道選抜については、2年前から4度に渡り、北海道酪農畜産協会や北海道、ホクレンなどが道内を巡回し審査が行われてきました。その結果、肥育部門3枠の1枠に前崎さん所有の「北百合安」号が選抜されることとなりました。共進会の肥育部門の成績は、前崎さんの牛を含む北海道代表は19組中9番目の優等賞9席と大変立派な成績を収め、宮城大会を終える事が出来ました。

代表に選ばれてからは大変な苦労がたくさんあったと思いますが、前崎さんと同じく肥育牛に携わる人たちが一丸となって、大変な時も乗り越えた事が今回の優秀な成績につながったと思います。

本当にお疲れ様でした。夢は大きく日本一！

第11回全国和牛能力共進会



平成29年産米の集荷・受入

各地区において平成29年産米の検査が行われており、組合員の皆様に於かれましては出荷作業等お忙しいことと思います。

各地区では検査された米の入庫作業が盛んに行われていまして、各倉庫に職員が配置し、トラックからの荷受、プッシュプルリフト等によるはい付け作業が日々行われております。

米検査、入庫作業ではトラックやリフトの出入りが多くなっています。運転、作業には十分注意しておりますが、組合員の皆様に於かれましても、この時期は日々のお仕事にお疲れのことと思います。仕事終了した後のお体の休息を忘れず、作業事故等に十分注意されますようお願いいたします。



平成29年産米 出荷がはじまる。作柄概況(作況指数9月15日現在) 留萌管内100が見込まれる。

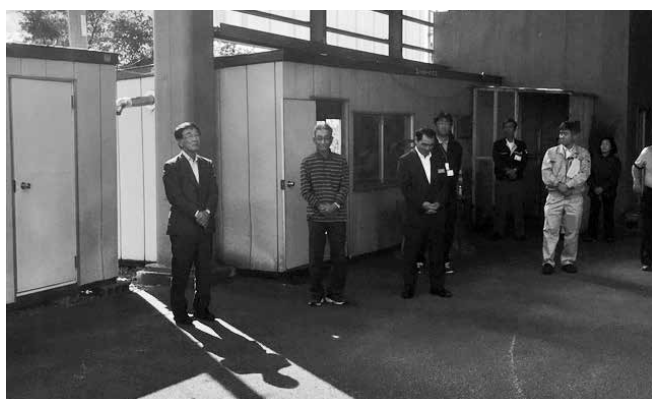
平成29年産米の検査は9月19日から小平地区、25日から幌糠地区、増毛地区で米検査受入が始まりました。10月3日現在では主食用・加工用・新規需要米で45,672俵が集荷受入され、その内、ななつぼしの低タンパク米(6.8以下)は65.9%、ゆめぴりかの基準米(7.4%以下)は97.8%を占めています。

10月3日現在集荷数量(主食用・加工用・新規需要米)

地区	数量(俵)	品種別数量(俵)							
		ほしのゆめ	きらら397	ななつぼし	ゆめぴりか	おぼろづき	きたくりん	ゆきさやか	その他
小平地区	38,415.0	25.0	391.0	20,942.5	16,746.0	11.5	75.0	224.0	—
幌糠地区	4,948.0	—	—	3,347.0	1,601.0	—	—	—	—
増毛地区	2,309.0	—	—	341.0	1,623.0	—	—	105.0	240
合計	45,672.0	25.0	391.0	24,630.5	19,970.0	11.5	75.0	329.0	240.0

特定米穀(麻袋・PP袋)

地区	数量(俵)
小平地区	1,500
幌糠地区	107
増毛地区	169
合計	1,776



平成29年産水稲の作付面積及び作柄状況

北海道は102
の「やや良」

農林水産統計（9月29日公表）では、調査結果の概要によると9月15日現在における全国の平成29年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む）は160万haで、前年産に比べて1万1,000haの減少が見込まれる。うち、主食用作付見込面積は、137万haで、前年産に比べて1万1,000haの減少が見込まれる旨発表しました。

9月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道、東北、北陸、関東・東山及び東海では、田植え期以降7月にかけておおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となっているものの、7月下旬から8月にかけての日照不足等により登熟が平年を下回ると見込まれる地域があることから、10a当たり予想収量は北海道で560kg（作況指数102）、東北で565kg（同100）、北陸で530kg（同99）、関東・東山で532kg（同99）、東海で498kg（同99）が見込まれる。近畿以西では、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことにより、全も

み数は一部を除き「平年並み」ないし「多い」となっており、登熟もおおむね順調に推移していることから、近畿は509kg（同100）、中国は526kg（同102）、四国は486kg（同101）、九州は515kg（同103）が見込まれ、この結果、全国の10a当たりの予想収量は534kg（同100）が見込まれると発表した。

北海道農政事務所によると、北海道の水稲作付面積は10万6,900haで、前年産に比べて1,400haの減少が見込まれており、なお、水稲作付面積（青刈り面積を含む）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は、9万8,600haで、前年産に比べて400haの減少が見込まれると発表した。道内の地域別作柄は、石狩、北空知・南空知、オホーツク・十勝が作況指数103で「やや良」、上川、後志、胆振、日高が102で「やや良」、留萌が100で「平年並み」、渡島・桧山が99で「平年並み」となった。

平成29年産水稲の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量

区分	作付面積(青刈り面積を含む。)				10a当たり 予想収量① (kg)	(参考)農家等が使用している、ふるい目幅の場合			平年比較			
	実数(ha)	前年産との比較		10a当たり 予想収量② (kg)		10a当たり 平年収量③ (kg)	作況指数 ④=②/③	穂数の 多少	1穂当たり もみ数の 多少	全もみ数の 多少	登熟の 良否	
		対差(ha)	対比(%)									
北海道	106,900	△	1,400	99	560	543	530	102	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
石狩	7,280	△	50	99	549	529	513	103	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
南空知	19,600	△	400	98	556	533	519	103	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良
北空知	27,300	△	300	99	584	567	550	103	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
上川	30,100	△	200	99	578	562	552	102	少ない	多い	平年並み	やや良
留萌	4,310	△	80	98	514	500	501	100	少ない	平年並み	やや少ない	やや良
渡島	2,990	△	20	99	494	470	473	99	やや少ない	多い	平年並み	やや不良
桧山	4,060	△	120	97	502	483	487	99	少ない	多い	やや多い	やや不良
後志	5,040	△	60	99	540	521	511	102	少ない	多い	平年並み	平年並み
胆振	3,830	△	70	98	509	492	481	102	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
日高	1,370	△	50	96	506	488	477	102	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
オホーツク・十勝	1,030	△	30	97	515	492	478	103	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 (参考)農家等が使用しているふるい目幅で選別された②10a当たり予想収量、③10a当たり平年収量及び④作況指数については、過去5か年間に北海道の農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道は1.85mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

3 作付面積(青刈り面積を含む。)については、四捨五入の関係で計と内訳が一致しないことがある。

水稲の年次別推移(北海道)

年産	作付面積 (青刈り面積を含む。) (ha)		10a当たり収量 (kg)	収穫量(子実用) (t)	作況指数	参 考	
	子実用(ha)	主食用作付面積 (ha)				収穫量(主食用) (t)	
平成20年産	114,600	114,600	565	647,500	106	110,900	626,600
21	114,500	114,400	475	543,400	89	112,500	534,400
22	115,100	114,600	525	601,700	98	112,400	590,100
23	114,000	112,900	562	634,500	105	109,100	613,100
24	113,200	112,000	572	640,600	107	108,700	621,800
25	112,900	112,000	562	629,400	105	107,000	601,300
26	112,100	111,000	577	640,500	107	103,500	597,200
27	110,500	107,800	559	602,600	104	100,100	559,600
28	108,300	105,000	551	578,600	102	99,000	545,500
29(見込み)	106,900	...	560	...	102	98,600	552,200

資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：1 10a当たり(予想)収量及び(予想)収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。

3 主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。ただし、平成29年産の生産数量目標の外数として取り扱う米穀等の作付面積は、平成29年9月15日現在の数値である。

4 作況指数は、平成27年産からは過去5か年に北海道の農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道は1.85mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70mmのふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

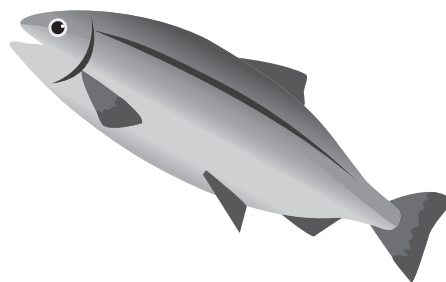
5 表中の「…」は未発表であることを示している。

第46回 増毛町秋の味まつり開催される

9月24日(日)増毛町中央埠頭を会場に開催されました。

毎年行われる秋の味まつりにはJA南るもい増毛支所が参加し、りんごジュースと洋なしジュースの販売を行い、また、同ブースでは果樹生産者も参加し、りんご、ぶどう、なし、プルーン等の販売も行われました。

前日は雨で開催日の天候が心配されましたが、当日は晴天となり、多くのお客様が来場し盛大なうちに終了いたしました。



各事業所の営業時間が11月1日より冬期営業時間に変更となります。

変更後の内容は下記のとおりとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

〈各事業所営業時間〉

事業所	冬期営業時間	期 間	備 考
本所 管理部 内部監査室 金融共済部	8:45~17:30	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
小平支所	8:45~17:30	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
農業振興部	9:00~17:15	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
購買部	9:00~17:15	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
増毛支所 金融共済部門 生産販売部門	8:45~17:30 9:00~17:15	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
幌糠支所	9:00~17:15	平成29年11月1日~平成30年2月28日	毎週 土・日曜日 休業
ホクレン留萌給油所	7:30~20:00 7:30~19:00	平成29年10月31日まで 平成29年11月1日より	
Aコープルピナス	9:00~20:00	通常営業	
小平店舗	10:00~17:30	平成29年10月1日~平成30年3月31日	

※本所・支所の金融窓口は、通常どおり9:00~15:00までとなっております。